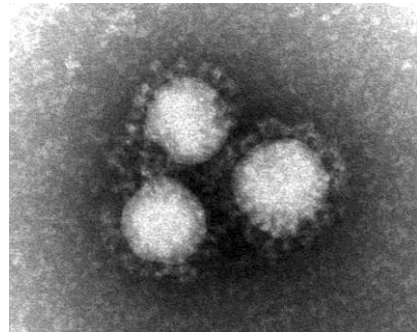


## MERS（中東呼吸器症候群）とは

2012年にイギリス英国で確認された、中東へ渡航歴のある重症肺炎患者から分離された新種のコロナウイルスで肺炎を主症状としており、死亡率が40～50%前後と非常に高い病気です。2003年に流行した重症急性呼吸器症候群（SARS）と同じ病原体のコロナウイルスの仲間ですが、SARSとMERSは異なる病気です。



国立感染症研究所 HP よ

### 原因と感染経路

新しい種類のコロナウイルス（MERS-CoV）による感染症で、感染経路は正確には分かっていませんが、ヒトコブラクダが感染源の一つと考えられています。その一方で、家族内、医療機関内の濃厚接触者の間で患者から医療従事者や他の患者等に感染した例が報告されています。限局的な「ヒトからヒト」への感染も報告されています。

### 症状

主な症状は、発熱、せき、息切れなどです。下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。潜伏期間は2～14日（中央値は5日程度）です。MERSに感染しても、症状が現れない人や、軽症の人もありますが、高齢者や基礎疾患に糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などのある人で重症化する傾向があります。

中東地域からMERSの確定症例としてWHOに報告された者のうち、症状が悪化して死亡する割合は、約40%とされています。

### 検査

地方衛生研究所で遺伝子検査を実施し、MERS コロナウイルスの遺伝子領域（1カ所）のを確認します。陽性の場合、病原体の少なくとも1つの遺伝子領域が確認されたことから、当該者を中東呼吸器症候群の疑似症と診断されます。確定診断のため、分離・同定による病原体の検出や国立感染症研究所により病原体の少なくとも2つの遺伝子領域の確認を行います。

### 予防

- ・石鹼による手洗い、マスクの装着などの一般的な衛生対策に心掛ける。
- ・咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触を出来る限り避ける。
- ・未殺菌の乳や生肉など加熱不十分な食品の喫食は避ける。
- ・ヒトコブラクダなど、動物との不要な接触は避ける。